

ランニングやサイクリングの場として使うようになった。だから、かなりの頻度で訪れ、毎回のようにゴミを拾うようになった。しかし、それで残念なことに気付いた。前拾った場所に新たにゴミが落ちていたり、ゴミ箱の周りにゴミが散っていたりと、一部の人たちのゴミ意識が低いということだ。ゴミ拾いも自分の為にはなるが、できればしない方が良いのは確かだ。ゴミOに向かってゴミ拾い以外にできないか、策を考えていきたい。

元々地理的にも水質改善には不利な佐鳴湖だが、多くの人が、多種多様なやり方で水質改善に取り組んでいる。皆佐鳴湖が大好きで、いつかは「きれいな湖」に戻ってほしいと願っている。僕もその一員として活動する。

なぜなら、僕もあの湖が、大好きだからだ。

リサイクルはかせが伝えたいこと

静岡新聞社・静岡放送賞

壬生 久葵さん

(静岡大付属浜松小4年)



わたしはがんばっている。かんきょうに良いことをしている。そう思っていました。でも、こんなわたしのような人、他にいませんか。だから、わたしは、伝えたいのです。

わたしの家の近くに大きなショッピングセンターがあります。そこに行く時、お母さんは大きな荷物を持って行きます。おかしいと

思いませんか。買い物をするのに荷物を持っていくなんて。でも、おかしくないのです。そこには、リサイクルステーションがあって、アルミカンやスチールカン、ペットボトルなどを集めているからです。わたしの家では、お水をよく買うので、ペットボトルがたまってしまうんです。今日もエコバッグいっぱいに入れて来ました。リサイクルステーションには、黄色いジャンパーを着た係りの人がいて出の方のアドバイスしてくれます。わたしがバッグをひっくり返して箱の中にペットボトルを入れると、

「たくさんジュースを飲んだね。」
と、声をかけられました。「ジュースじゃなくて、お水です。」
と、わたしが答えると、「お水なら大丈夫。」
と言われました。「何で、ジュースはダメなの。」わたしの頭は、『はてな』でいっぱいになりました。すると、「ペットボトルってね、他の物に生まれかわる前にペレットっていうツブになるんだよ。」
「知っています。本で読んだことがあります。」
「えらいね。でも、これは知ってるかな。ペレットにした時、とつ明になる物と茶色になる物があるってこと。」

「どうして、茶色になる物があるのですか。」
「それはね、ジュースのよいうなあまい飲み物が入っていたペットボトルをすぐにあらわないでおくと、変色してしまうんだよ。」
わたしは、かたい物で頭をたたかれたようなしよげきを感じました。顔を上げると、お母さんもおどろいていた様子で立ちすくんでいました。
「知らない人が多いから、教えてあげてね。」
係りの人はそう言つと、軍手を外してわたしに手をふってくれました。
一生けん命リサイクルしてきたのに、半分くらいしか役に立っていないかったと思うとつらいけれど、今日からわたしはリサイクルはかせになって、みんなに伝えたいです。
「みなさん、ジュースが入っていたペットボトルは、飲み終わったらすぐにあらいましょね。」